

性教育（中学校）の実施状況調査結果について

○調査対象：都内全公立中学校等（624校）

○回答者：校長

○実施時期：平成30年8月3日～23日

○回収率：100%

（参考）

1 平成30年度 性教育の教育課程上の位置付けについて（各学年・各教科等の年間授業時数）

第1学年			第2学年			第3学年		
教科	学校数	総時数	教科	学校数	総時数	教科	学校数	総時数
保健体育	608校	2836時間	道徳	533校	1354時間	理科	515校	3090時間
道徳	539校	1359時間	特別活動－学級活動	427校	959時間	社会	478校	2004時間
特別活動－学級活動	426校	908時間	理科	207校	946時間	保健体育	521校	1676時間
特別活動－学校行事	355校	535時間	保健体育	184校	637時間	道徳	538校	1354時間
理科	155校	495時間	特別活動－学校行事	341校	503時間	技術・家庭	398校	1350時間
技術・家庭	192校	421時間	技術・家庭	165校	416時間	特別活動－学級活動	428校	923時間
総合的な学習の時間	80校	193時間	総合的な学習の時間	83校	216時間	特別活動－学校行事	347校	537時間
社会	55校	123時間	社会	77校	166時間	総合的な学習の時間	107校	285時間
国語	32校	72時間	国語	24校	59時間	国語	31校	68時間
音楽	23校	42時間	特別活動－生徒会活動	19校	37時間	音楽	21校	41時間
特別活動－生徒会活動	19校	36時間	音楽	19校	30時間	外国語	14校	38時間
外国語	12校	31時間	外国語	12校	29時間	特別活動－生徒会活動	20校	36時間
美術	12校	29時間	美術	13校	24時間	美術	15校	25時間
数学	4校	5時間	数学	10校	12時間	数学	4校	6時間

第1学年 年間授業時数		第2学年 年間授業時数		第3学年 年間授業時数	
1～10時間	354校	1～10時間	420校	1～10時間	217校
11～20時間	193校	11～20時間	102校	11～20時間	208校
21～30時間	56校	21～30時間	29校	21～30時間	88校
31時間以上	18校	31時間以上	27校	31時間以上	108校
無回答	3校	無回答	46校	無回答	3校

2 性教育に関する状況について（管理職の意識調査）

	①とてもそう思う		②そう思う		③あまりそう思わない		④そう思わない	
(1) 生徒は、性に関する正しい知識を身に付けている。	9	1%	317	51%	277	44%	21	3%
(2) 生徒は、性に関する情報に対して適切に判断し行動している。	7	1%	371	59%	231	37%	15	2%
(3) 学習指導要領に示されていない内容を指導することも必要だと思う。	27	4%	260	42%	250	40%	87	14%
(4) 教員は、専門的知識に基づいて性教育を行うことができている。	33	5%	375	60%	197	32%	19	3%
(5) 教員は、性教育について自信をもって指導している。	32	5%	287	46%	280	45%	25	4%
(6) 保護者は、家庭において子供に対して性に関する指導を行っている。	1	0%	91	15%	425	68%	107	17%
(7) 保護者会等で保護者に対して、性に関する子供の現状や社会状況等の情報提供を行っている。	16	3%	253	41%	289	46%	66	11%
(8) 性に関する授業は、医師等の外部講師を活用することが効果的である。	160	26%	395	63%	65	10%	4	1%
(9) 性教育を行う際に、都教育委員会等から医師等の外部講師を派遣してほしい。	130	21%	362	58%	116	19%	16	3%
(10) 都教育委員会等から、性に関する指導資料等を配布してほしい。	106	17%	395	63%	110	18%	13	2%
(11) その他 性教育で指導上課題と感じていること等（自由記述 抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・生殖機能に関する内容だけでなく、性に関する教育は生命尊重、人権尊重の教育であるという認識が薄い。 ・情報が大量に溢れている中で正しい知識を指導することが必要であるが、具体的な指導ができない。 ・生徒の成育環境の個人差が大きいことへの対応が難しい。 ・発達段階を捉え、生徒の実態を十分に把握すること。 ・教育課程編成時に作成した年間計画を全職員に周知し、各担当の連携が必要である。 							

3 避妊法や人工妊娠中絶等、中学校学習指導要領に示されていない内容の授業での指導について

(1) 避妊法や人工妊娠中絶等の内容を授業で指導していますか。

	学校数	割合
指導している（する予定である）	55	9%
指導していない	569	91%
合計	624	100%

・教育課程上の位置付け（複数回答）

	学校数	割合
国語	0	0%
社会	0	0%
数学	0	0%
理科	0	0%
音楽	0	0%
美術	0	0%
保健体育	41	71%
技術・家庭	0	0%
外国語	0	0%
総合的な学習	6	10%
道徳	0	0%
特別活動	10	17%
無回答	1	2%
合計	58	100%

(2) 授業で指導している理由（自由記述 抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会が進展する中で、様々な情報が氾濫し、子供たちは性に関しても無防備な状態で様々な情報にさらされている。このような状況で子供たちの健全育成を図るためには、情報を選択するための正しい知識を身に付けさせることが必要であると考えたため。 ・性感染症を教える中で、知っておいたほうがよいと考えたため。 ・命の大切さを知り、望まない妊娠をさせないこと。子供を大切にす気持ちをもたせ責任と判断する力を身に付けさせるため。
--

(3) 指導形態

	学校数	割合
集団指導のみ	51	93%
個別指導のみ	0	0%
集団指導と個別指導の両方	4	7%
合計	55	100%

(4) 指導している主な内容(学校数・自由記述)

- 避妊法 (27)
- 人工妊娠中絶 (11)
- コンドームの利用 (5)
- 性交 (3)
- 望まない妊娠 (2)

(6) 生徒・保護者の理解が得られない場合の対応

- 指導内容について説明し、理解を得られなければ個別で対応する。
- 保護者説明会などで学習内容・評価計画を具体的に説明する。
- 積極的に授業参観を促す。

(5) 生徒や保護者への事前の周知方法(学校数・複数回答)

- 生徒に対して
 - 年間指導計画を提示 (25)
 - 口頭にて説明 (18)
 - 指導案を配布 (3)
 - 事前アンケートを配布 (2)
 - 学年だよりを配布 (2)
 - その他 (5)
 - していない (11)
- 保護者に対して
 - 年間指導計画を提示 (24)
 - 通知文を配布 (8)
 - 学年だよりを配布 (6)
 - 口頭にて説明 (3)
 - その他 (6)
 - していない (15)

4 平成30年度 性教育に関する外部講師の活用状況

(1) 外部講師を活用した指導の実施状況

	学校数	割合
実施	144	23%
実施していない	480	77%
合計	624	100%

(2) 外部講師を活用した授業の教育課程上の位置付け(複数回答)

	学校数	割合
国語	0	0%
社会	0	0%
数学	0	0%
理科	0	0%
音楽	0	0%
美術	0	0%
保健体育	28	18%
技術・家庭	3	2%
外国語	0	0%
総合的な学習	50	32%
道徳	19	12%
特別活動	56	36%
合計	156	100%

(3) 外部講師が指導している学校数と時期(学校数・複数回答)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年生	1	3	4	4	0	6
2年生	1	2	4	6	0	6
3年生	1	4	7	8	0	5
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	5	4	3	1	1	3
2年生	4	8	5	1	5	4
3年生	8	6	3	0	2	84

(4) 外部講師の授業形態(複数回答)

	学校数	割合
①学校全体	16	10%
②学年単位	111	71%
③学級単位	22	14%
④グループ	8	5%
合計	157	100%

(5) 外部講師の職業(複数回答)

	①外部医師	②学校医	③保健師	④看護師	⑤助産師	⑥大学教員	⑦その他の職業	合計
学校数	17	3	30	3	63	11	46	173
割合	10%	2%	17%	2%	36%	6%	27%	100%

<外部講師の職業 内訳>

外部医師担当科	産婦人科	12	その他職業	NPO法人等	18	民間企業	5	主任児童員	1	保護者	2
	泌尿器科	4		自治体職員	5	SC.臨床心理士	3	ユニセフ協会	1		
	高度救命救急センター	1		警察・弁護士	7	団体	2	保育士	2		

(6) 外部講師との事前打合せの有無

	学校数	割合
有	139	97%
無	5	3%
合計	144	100%

(7) 外部講師を招へいした際の費用

	学校数	割合
無償	68	47%
1万円未満	11	8%
1万円以上2万円未満	24	17%
2万円以上3万円未満	19	13%
3万円以上4万円未満	10	7%
4万円以上5万円未満	7	5%
5万円以上	5	3%
合計	144	100%

(8) 講義のテーマ(複数回答)

	内容	学校数	割合
学習指導要領に示されている	男女のちがいがい	77	19%
	生命尊重	103	25%
	育児	54	13%
	性感染症	74	18%
	結婚	22	5%
	人権尊重	69	17%
	その他	9	2%
	合計	408	100%
学習指導要領に示されていない	避妊法	22	23%
	人工妊娠中絶	10	10%
	出産	37	38%
	妊娠に関するリスク	16	16%
	その他	12	12%
合計	97	100%	

5 性教育全般の意見(自由記述 抜粋)

- 性教育の指導については、時代によって課題も変わってきているので、東京都で最低限の指導の資料を作成してもらおうと大変にありがたい。
- 中学生という多感な時期に、多様な情報が渦巻く中で、正しい性に関する知識を学ばせることはとても重要だと思う。
- 学校だけでなく、家庭と連携・協力しながら進めていくことが大切だと考える。自己肯定感を高め、他者を尊重する心を育む一つの機会と考える。

※ 本調査結果は、学校から提出された調査票を集計したものであり、また、パーセント表示は、小数第一位で四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。